

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2005-221516 (P2005-221516A)

【公開日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【年通号数】公開・登録公報 2005-032

【出願番号】特願 2004-26167 (P2004-26167)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/02 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

G 0 3 B 13/24 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/02 C

G 0 2 B 3/00 A

G 0 3 B 13/24

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一方の面に複数のマイクロレンズが配列され、前記複数のマイクロレンズの半分以上がその外周形状が $(2n+1)$ 角形である拡散板。

ただし、 n は 2 以上の整数である。

【請求項 2】

一方の面に複数のマイクロレンズが配列され、前記複数のマイクロレンズの半分以上がその外周形状が $(2n+1)$ 角形であり、その間に m 角形の複数の領域を有する拡散板。

ただし、 n は 2 以上の整数、 m は 3 以上の整数である。

【請求項 3】

前記 $(2n+1)$ 角形の複数のマイクロレンズ、あるいは前記 $(2n+1)$ 角形の複数のマイクロレンズと前記複数の領域が 2 種類以上の高さの異なるマイクロレンズとからなる請求項 1 または 2 の拡散板。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載の拡散板を備える光学装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載する拡散板であって、 n の値が 4 以下である多角形のマイクロレンズであることを特徴とする拡散板。

【請求項 6】

請求項 2 に記載する拡散板であって、 m 角形の領域が平坦部であり、この平坦部が砂摺り状であることを特徴とする拡散板。

【請求項 7】

請求項 2 に記載する拡散板であって、 m 角形の領域がマイクロレンズであることを特徴とする拡散板。

【請求項 8】

請求項 3 に記載する拡散板であって、前記 2 種類以上の高さの異なるマイクロレンズが、高さによって異なるパターンにて配置されていることを特徴とする拡散板。

【請求項 9】

請求項 3 あるいは 8 に記載する拡散板であって、前記複数のマイクロレンズまたは、前記複数のマイクロレンズと複数の領域からなる単位を一つの周期とした周期構造をなすことを特徴とする拡散板。

【請求項 10】

一方の面に複数の多角形のマイクロレンズが配置された拡散板であって、各マイクロレンズの頂点を結ぶ線とマイクロレンズの多角形の辺とが直交しないようにマイクロレンズが配置されていることを特徴とする拡散板。

【請求項 11】

一方の面に複数のマイクロレンズが配置されている拡散板であって、隣り合うマイクロレンズの頂点を結ぶ直線と別の辺で接するマイクロレンズの頂点を結ぶ直線とが一致しないように各マイクロレンズが配置されていることを特徴とする拡散板。

【請求項 12】

請求項 10 または 11 に記載する拡散板であって、複数のマイクロレンズよりなる単位を一つの周期として配列されたことを特徴とする拡散板。

【請求項 13】

請求項 1、2 又は 3 あるいは 5 乃至 12 のいずれか 1 項に記載する拡散板を用いたカメラの焦点板。